

企画展 久留米に響く『第九』の調べ

会 期 令和元年12月18日(水)～12月28日(土) 10時～17時

会期11日間・無休

会 場 久留米シティプラザ2階 展示室2

入 場 料 無料

主 催 久留米市、久留米市教育委員会

協 力 アサヒシューズ株式会社 株式会社ムーンスター 鳴門市

主 旨 大正8年(1919)12月3日、ドイツ兵捕虜達によって久留米高等女学校講堂で、ベートーヴェンの交響曲第9番が演奏された。これは国内で市民が初めて「第九」の演奏を耳にしたもので、令和元(2019)年12月に初演から100周年の節目を迎える。久留米俘虜収容所に関する資料などを展示するとともに、久留米に残るドイツ兵捕虜の足跡を紹介する。

関連イベント ①ゆかりの地をめぐるバスハイク

日 時：12月21日(土) 13:00～16:00

②講演会

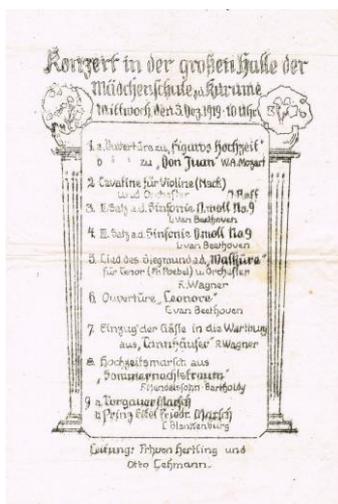
日 時：12月22日(日) 14:00～16:30

会 場：久留米市生涯学習センター(えーるピア久留米)301・302 学習室

主な展示内容

1. 戦争の時代・・・第1次世界大戦の解説と久留米の関わりを解説
2. 俘虜収容所の生活・・・久留米俘虜収容所についての解説
3. 第九の調べ・・・久留米高等女学校での第九演奏関連資料の紹介
4. 久留米への貢献と解放
5. 現在とこれから

《展示例》



【久留米高女での演奏プログラム】

(個人蔵 パネル展示)



【久留米高女での演奏風景】

(久留米市教育委員会蔵パネル展示)